

# 「元町長が契約指示」

## 土壌調査密約で西尾市 本人は否定

愛知県旧一色町（現西尾市）の土壌汚染調査の結果に関する秘密契約問題で、

西尾市は七日、榊原康正市長の記者会見に続き、市議会全員協議会で経緯を説明した。市側は、契約の起案文書に当時の都築議町長の直筆サインがあり、担当者への聞き取りなどから都築氏自身の指示で契約が行われたとの認識を示した。

市の説明によると、起案文書は契約直前の二〇一一年三月二十五日付。契約書にある町長公印とは別に、決裁の際に自筆のサインがあ

った。筆跡鑑定の結果、都築氏の署名と断定したと述べている。

都築氏は七日、西尾市役所で会見し、契約書のコピーを見ながら「記憶にない」と関与を否定。市議会での市の説明後も主張を崩していない。一方で、記憶違いの可能性にも言及し「その場合はおわびしなければならない」と話した。

市側は、秘密契約の存在を知ったのはケーイーシーから契約の解除申し出があった今年一月だと説明。一年九月にケーイーシーから調査結果の報告を受けていながら公表を見送ってきた経緯については、一業者の任意調査であり、扱いに慎重になったと釈明し、今後は県と連携して市が再調査するとした。